

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	1 1	事業名 (実施計画名)	防災資機材整備事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	防災資機材整備事業		
担当部課	市民安全部防災対策課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	改善・効率化し継続
理由	限られた予算で実施されている事業であるが、目標値の設定のあり方、運営方法等には改善の余地がある。
附帯意見	災害時に対応できるよう、新規協定の締結などの目標値の拡大、や新製品の情報収集など運営面の充実を求める。自助・共助・公助の役割分担を明確化し、また、市民協働を含めた防災のあり方を検討する必要がある。限られた予算の中で防災備品を調達するため、防災資機材整備計画の見直しを検討する必要がある。

3 評価結果の反映状況

事業費	23年度予算額（案）	（参考）22年度予算額	（参考）21年度決算額
	20,702 千円	25,347 千円	38,327 千円
議会評価に対する考え方	<p>防災資機材につきましては、新規協定の締結などを積極的に行うなど目標値を拡大し、運営方法を改善して対処します。</p> <p>自助・共助・公助の役割分担は明確化されているため、それを地域に浸透させていく必要があると考えています。</p> <p>市民協働を含めた防災行政につきましては、今後も検討する必要があると考えています。</p> <p>防災資機材につきましては、新製品等の情報収集を充実させながら検討する必要があると考えています。また、防災訓練等において市民との協働で取扱訓練や展示による共通認識に努めていますので、今後も継続して実施していきます。</p>		
今後の事業展望	<p>神奈川県被害想定の変更や神奈川県地域防災計画の見直しを踏まえながら、防災協定等を積極的に締結し、流通備蓄や事業所等との連携を深め対応していきます。</p> <p>また、自助・共助・公助の役割分担等を地域に浸透させるための啓発活動を行い、市民協働を含めた防災行政を目指していきます。</p>		